

「全身映像作家」大林宣彦監督が、自身の全作品を語り尽くす！

10/20
配本

大林宣彦のワンダーランドはこうして作られる！

デビュー作『HOUSE ハウス』から角川映画の尾道三部作、それ以前の「マンダム」CMや個人映画作品など最新作まで、すべての作品を網羅！

また、自ら作品の外輪を語る「インターミッション」、ゆかりの著名人による「私の好きな大林映画」も収録。

大林映画に心をとらわれた方々、またスタジオシステム崩壊後・70年代以降の日本映画を知るための重要資料！

A MOVIE 大林宣彦、全自作を語る

著者：大林 宣彦

定価：(本体 3,200 円 + 税)

A5 判 / 752 ページ

「HOUSE／ハウス」から、尾道三部作、最新作「海辺の映画館—キネマの玉手箱」まで、日本インディーズ映画作家の父・大林宣彦のワンダーランドはこうして作られる！

関係者から大林監督へのエッセイ&質問／フィルモグラフィ付き

日本で最もラディカルな映画作家の全記録！



CONTENTS

- 1章：自主映画作家の商業映画への進出～『HOUSE ハウス』、他
 - 2章：角川映画との出会い～『金田一耕助の冒険』、他
 - 3章：尾道三部作の時代～『転校生』、『時をかける少女』、他
 - 4章：戦争と死者とファンタジー～『彼のオートバイ、彼女の島』、他
 - 5章：新たなる演出技法の開拓～『ふたり』、『はるか、ノスタルジイ』、他
 - 6章：映画史の再検証～『風の歌が聴きたい』、他
 - 7章：回想～個人映画、コマーシャルの時代～『ポパイの宝島』、他
 - 8章：21世紀の新たな挑戦～『理由』、他
 - 9章：3・11と戦争の記憶～『この空の花—長岡花火物語』、他
 - 10章：40年目の集大成～『花筐／HANAGATAMI』、他
 - 11章：資料篇
- インターミッション
私の好きな大林映画

番線印	タイトル	ご注文数
	【新刊】 A MOVIE 大林宣彦、全自作を語る 定価：(本体3,200円+税) ISBN978-4-8456-3541-2	冊
	【既刊】 ショーケン 別れのあとに天使の言葉を 併売推奨 定価：(本体2,000円+税) ISBN978-4-8456-3443-9	冊